

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	コンビニ（経営者）	・3か月後はゴールデンウィークもあり、人の動きが活発になるため期待できる。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・来客数の動きをみると、例年と比べ予約から宿泊までの期間が長く、先の予約が早めに埋まっている。
	◎	タクシー（経営者）	・年度末に向け、会合等が増えている。
	◎	ゴルフ場（経営者）	・物価対策とAI、半導体、防衛等に戦略的投資を融合させた責任ある積極財政により、景気が良くなることを期待している。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・毎日のように依頼や相談、予約が入っている。この状態は今後も続く。
	○	商店街（代表者）	・2年ほど前に大型店が撤退してから商店街はずっと落ち目だったが、空き店舗に入る店が少しずつ出てきて、多少良くなっている。
	○	スーパー（経営者）	・政治が安定することで、景気は良くなっていく。
	○	スーパー（企画担当）	・季節の変わり目の需要が期待される。
	○	コンビニ（経営者）	・天候が暖かくなれば、早朝の売上がかなり見込める。早朝からどこかに出掛ける際はコンビニを利用する機会が多くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・新年度がスタートして、やや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・例年どおり気温が上がれば、来客数、売上共に伸びる。
	○	乗用車販売店（経営者）	・各メーカーで新型車の発表イベントが予定されており、自動車税の環境性能割廃止もあいまって新車市場は活性化が見込まれる。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・来客数が前年を超えており、消費が増えると予想される。
	○	高級レストラン（経営者）	・衆議院選挙が終わり、政府の物価高や景気対策に期待を寄せているものの、政策効果が出るまでには、時間が掛かる。実際の景気が良くなるのはもう少し先だと考える。
	○	一般レストラン（経営者）	・天候回復に加え、市でプレミアム付商品券の発行予定があるため、良くなるとみている。
	○	スナック（経営者）	・いろいろ厳しいことも多く楽ではないが、物価の上昇により材料費が上がってもきちんと価格転嫁することができており、有り難い。人練りの面で苦労はあるが、世の中が良くなるムードがあり、明るい気持ちになれる。
	○	観光型旅館（経営者）	・春はインバウンド比率が下がるため、現状よりは回復すると考えている。中国からのインバウンドの激減により、主要観光地でホテルの空室が多く発生することによる国内客の取り合いはしばらく継続しそうだ。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・先の予約が顕著に動いており、特に、ゴールデンウィーク期間の予約等が多く入ってきている。法人関係の動きにさほど大きな変化はないものの、個人利用の問合せや予約が好調である。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・2月は最悪だったので、これ以上下がることはない。季節要因で3月以降は天候も良くなり、個人客の動きが良くなってホテルに旅館してくれるとみている。また、衆議院選挙の結果、政権が安定したことで、支援企業等の動きも良くなってくる。
	○	観光名所（職員）	・物価の上昇に収入が追いついていないことが懸念されるものの、国内観光客が戻りつつある。また、当地は従来より中国からのインバウンドは少ないため、訪日渡航自粛の影響もほとんどない。
○	遊園地（職員）	・今後の卒業旅行や春休みシーズンを見据え、イベントの実施や限定チケットの販売などプロモーション施策を強化し、集客に注力していきたい。	
○	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・本格的に春休みシーズンになるため、学生を中心に集客が期待できる。	
□	商店街（代表者）	・4月からの値上げ通知が多くの取引先から来ている。値上げにより客の購入点数が減るため、相殺されて売上は伸びない。経費のみ増加することになり、厳しい状況は変わらない。	

	<input type="checkbox"/>	一般小売店〔家電〕（経営者）	・商品販売だけで売上を維持していくにはますます厳しい状況となる。修理、取付け、工事等で収益を上げることは難しい。高価な商材を販売したいところではあるものの、消費者の財布のひもは固く、商談も困難である。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（経理担当）	・株高基調から景気の上向き感がみられるが、円安、物価高、世界情勢等が、消費にどう影響するか注意が必要である。今月の状況はやや良いので、これが継続されていくことを期待している。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・今後は賃上げは期待できるものの、依然として物価は高止まりしているため、現状のまま変わらずに推移する。
	<input type="checkbox"/>	百貨店（店長）	・約1年前に近隣店舗の閉店等があり、客の流れに変化があったがそれも一巡した。景気対策への期待が下支えとなり、先の下振れする要因は特にならない。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・米価高騰対策としての自治体からの商品券等の配布、企業の賃上げに期待する。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・値上げの流れは変わらず、客のまとめ買い傾向は続いていくものとみられる。
	<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・客の様子に直接関係あるのは気温の推移だが、今後も前年と比べて、最低気温、最高気温共に高く推移していくようである。気温の上昇に伴って良くなるとみているが、今までのように結局うまくいかない状況もあるため、余り変わらない。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・景気回復の実感がない。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔酒〕（店長）	・大きなスポーツイベントが多くなることから、外食というよりは家で食事をする人が増えるとみている。現状、高級品が少量化しており、客の給料や生活が向上しない限り、小さい瓶の商材を買っていく傾向は続く。物価上昇と購買行動は連動していると考えため、3か月後も変わらない。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・消費税減税の見込み等で、飲食や食品関係は動き出すようにみえるものの、世界情勢を考えた場合、物価上昇は否めない。飲食業の場合、業者との取引で値上げが出てくる。
	<input type="checkbox"/>	スナック（経営者）	・これから歓送迎会シーズンに入り、多少人の流れが増える。ただし、コロナ禍以降は宴会等が自粛傾向となり、大人数での歓送迎会もしないことが普通になったため、今後2～3か月はなかなか厳しい状況が続く見通しである。
	<input type="checkbox"/>	旅行代理店（副支店長）	・春先の受注が前年比80%程度と低迷している。今後の動向を注視しているものの、団体旅行の受注の動きが鈍いため、今と余り変わらない。
	<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・前年に乗務員が何人か退職したが、現在新しい乗務員の研修中であり、1～2か月後は人員が増えるため、徐々に良くなってくる。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	・特段良くなる材料はないが、新年度に向け方策を練って具現化し、予算達成が実現できるよう、スピード感を持って取り組んでいく。
	<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（副支配人）	・4月以降の予約の動きは変わらない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・可処分所得増加の見込みが薄いため、やや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・人影のない商店街の次の段階は閉店になるが、シャッター通りになるのはつらい。
企業 動向 関連  (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体の需給が回復し、良くなる。
	○	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・顧客である小売店も商材が高値になっているため、仕入れを抑えてきた影響から在庫不足に陥っている。積極的に商材を集め始めている店もあり、少しずつ動きが出るとみている。ただし、地金価格とともに高騰する商材の新価格に付いてこられない小売店は、ますます先細る可能性がある。
	○	建設業（経営者）	・季節要因もあるが、工事の問合せが少しずつ入っている。
	○	金融業（経営企画担当）	・新政権の物価対策の効果が出ることを期待している。
	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（営業統括）	・工場出荷量が停滞している。また、原材料価格が高騰している上に、在庫量を多く抱えており、厳しい状況にある。
	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（総務担当）	・原材料価格の高騰が、変わらず続いている。
	<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（経営者）	・しばらくは特注品の対応が続く。

	□	金融業（調査担当）	・製造業は大きな変化はみられず、横ばいの見通しである。非製造業は人手不足や物価高に伴う消費者の支出抑制傾向が続いている。一方、観光関連は春の行楽シーズンに向けて需要が底堅く推移する見込みで、全体では変わらない。
	▲	食料品製造業（製造担当）	・世界情勢の変化から石油製品が再び高騰し、値上がりすることが見込まれるため、ただでさえ少ない利益がますます圧迫される。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・ここ数か月で紙代や資材が値上がりしている分を、客に転嫁できない可能性がある。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・資材の高騰に加え人件費も上げる必要があるため、経営的には厳しい。ただし、以前と比べると、取引先とは単価交渉の機会が若干増えたり、物価高騰等の影響を考慮してもらえる状況になっているため、踏ん張り時である。
	▲	電気機械器具製造業（従業員）	・今年に入ってから銅価格の急激な値上げに伴い、4～6月にかけて、銅を使用している製品の値上げ要請が多数来ている。そのため、今後の多少不安である。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが本当に大変である。
雇用 関連	◎	—	—
	○	—	—
(甲信越)	□	人材派遣会社（営業担当）	・世界情勢も含め、全ての要因が生活に直結しているため、変わらない。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数が前年同月比で5.4%減少し、2か月ぶりに前年同月比で減少している。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数、新規求職者数共に、前年同月比で増減はあるものの、特段大きな動きは見られない。
	□	職業安定所（職員）	・物価高が緩和しないため、家計の足しにしたいとパート等の就業志望者が増えている。ただし、ミスマッチ等もあり、求職者の希望する就職ができる状況ではない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・現場の求人は多いものの、開発や管理等の求人は採用がますます厳しくなり、慎重に見極める企業が多い。
	▲	職業安定所（職員）	・中国の景気が低迷していることに加え、米国政権の新たな関税政策が日本経済へ与える影響は、より一層不透明になっており、今後、国内企業の収益悪化等が懸念される。
	×	—	—